

土壤汚染の暴露経路のとらえ方

土壤汚染に起因する有害物質の暴露経路については、以下のように整理できる。

1 人の健康の保護の観点

(1) 汚染土壤の直接暴露

汚染土壤の摂食*¹及び皮膚接触(吸収)【現行のダイオキシン類に係る土壤環境基準】

(2) 他の媒体(大気、公共用水域、地下水)を通じた暴露

地下水等(への溶出) 飲用等【現行の土壤環境基準(溶出基準)】

大気中(への揮散) 吸入

公共用水域(への土壤粒子の流出) (魚介類への蓄積) 摂食

農作物、家畜(への蓄積) 摂食【現行の土壤環境基準(農用地基準)】

2 生活環境(生態系を含む)の保全の観点

(1) 汚染土壤の直接暴露

生活環境(不快感等)

農作物、農作物以外の飼料用植物の生育阻害【現行の土壤環境基準(農用地基準)】

生態系への影響

(2) 他の媒体(大気、公共用水域、地下水)を通じた暴露

生活環境(飲料水の油膜等)

生態系への影響

(* 1 : 飛散による土壤粒子の摂取を含む。)